

キャラクター名
ナタ

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ キュマイラ	ワークス	中学生	カヴァー	中学生
オプション		年齢	15	性別	男
覚醒	無知	衝動	妄想	初期侵食率	32 %
出自	兄弟	経験	大成功	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	45
肉体	6	0	0	1		7	行動値	3
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	2		交渉		
回避	5		知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:	1		情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
乾坤圏	白兵	7r+6	3	+lv+4		
風火二輪	白兵	7r+6	3	+lv+4		
光の剣	白兵	7r+6	3	lv+4		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費
守護天使 [シティガーディアン]	P	N		
獅妹	P 連帯感	N		
鍾馗	P 庇護	N 劣等感		
反抗者 [レジスタンス]	P	N		
山茶花	P	N		
銀角	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
光の剣	1	2	セットアッププロセス	至近	自身	自動成功	-	
効果: 白兵武器を作り出す								
コンセントレイト	3	2	メジャーアクション	-	-	-	-	
効果: クリティカル値を-Lv(下限値7)								
完全獣化	3	6	マイナーアクション	至近	自身	自動成功	-	
効果: 肉体能力値使用の判定が+lv+(lv+2)								
知性ある獣	1	2	マイナーアクション	至近	自身	自動成功	-	
効果: 完全獣化の効果中もアイテムを扱える								
フルパワーアタック	2	4	セットアッププロセス	至近	自身	自動成功	80↑	
効果: 白兵攻撃の攻撃力+(LV×5)								
獣の力	2	2	メジャーアクション	武器	単体	対決	-	
効果: 白兵攻撃の攻撃力+(lv×2)								
鋼の肉体	1	2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: HPを[(LV)d+[肉体]]点回復								
3頭の魔獣	1	4	マイナー	至近	自身	自動	120↑	
効果: 白兵攻撃力+肉体 攻撃以外が+lv-3								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージロール直前に加ダメージを行える								
魔獣の咆哮	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の判定ダイス-Lv個								
巨人の生命	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+(LV×5) 基本侵蝕率+3								
獣の臭い	★	-	メジャーアクション	視界	効果参照	交渉	-	
効果: 動物のエキストラに命令をひとつできる								
眠れる遺伝子	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果: 常に動物の姿で日常を過ごせる								

スキル1 主の右腕+乾坤圏(光の剣)
 スキル2 幻惑の光+吹き飛ばし
 ult セントールの足lv4+ハンティングスタイルlv1、ライトスピードlv1 侵食値 7
 パッシブ ショックアップソープ Lv4
 戦闘開始時適用

覚醒 無知
 最近、自分に満足できないんだ。
 僕はスポーツの天才。神器のおかげも少しはあるけど、それでも努力を積み重ねて、この身体能力を手に入れた。
 でも、僕の理想像には程遠い。まだまだ弱くて、体も小さいし、何より女装なんてさせられてる。
 これじゃあダメなんだ。
 沢山努力をしたのにまだ届かない。
 だったらもっともっと、もっともっともっとももっと努力しよう。
 努力したのに報われないなんて、嫌だからさ...
 積み重ねて、どんどん高く努力を積んで。
 いつも通り練習していたはずなのに、気づいたら学校の保健室で横になっていた。
 疲労に耐えられなかったのか、倒れてしまったらしい。
 霧がかかると少し前のこと。思い返せば何となくそんな気がしてきた。
 そして僕はおもいだした。
 視界がぐらりと揺れた時、何かが切れたような感覚を感じたことを。

